

モニターアーム ダクトタイプMAX 取扱説明書

この度はSUS(株)製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書の内容をよく読み、正しくお使いください。また、この取扱説明書をお読みになった後は、お客様にて大切に保管してください。

■■■ 安全にお使い頂くために ■■■

製品を安全にお使いいただくために、よく読み正しくお使いください。
以下に示す内容は、お客様やその他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためのものですので、内容をよくご確認の上、お読みください。



警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

- 内容に不明な点がある場合は、組立前に弊社までご相談ください。
- お客様での分解、修理、改造は絶対におやめください。破壊など重大な事故に繋がります。
- 本製品にぶら下がるなど許容懸架荷重以上の物体を懸架させないでください。破壊、変形など重大な事故に繋がります。



注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「障害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- 次の場所での設置、ご使用は避けてください。
 - ① 粉塵、油、薬品、腐食ガスなどが掛かる恐れのある場所。
 - ② 湿度の高い場所。
- リングナットを緩めないでください。
破壊、変形など構造に支障を来たします。
- 本製品が破損した状態で放置、使用しないでください。
- 本製品を固定する際は締結トルクを守り確実な固定をしてください。
- 本製品を改造しないでください。
予期しない破損により怪我、損害が発生する恐れがあります。
- ダクト長別可搬荷重を超えて使用しないでください。
また、故意にぶらさがったり、急旋回させるなど衝撃荷重は避けてください。
破損の原因になります。

SUS株式会社

<http://www.sus.co.jp/>

お問い合わせはSnets営業までお願い致します。

【お問い合わせ先】

〒439-0037

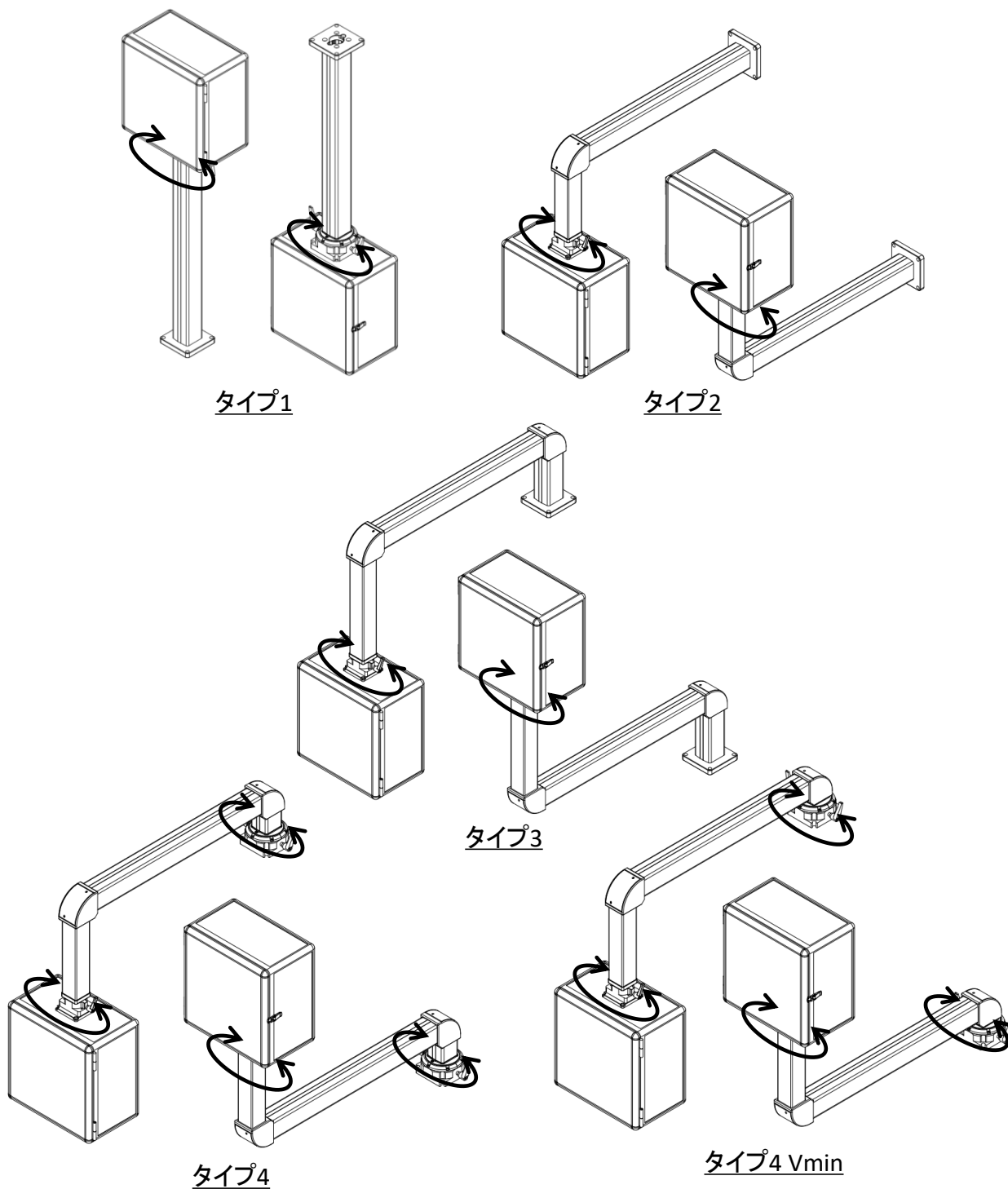
静岡県菊川市西方53 TEL: (0537) 28-8700

静岡事業所 Snets営業

取扱説明書に記載されている内容は製品の改良の為、予告なしに変更することがあります。

目次

- ◆組立前準備 … P3
- ◆組立方法 … P4～P7
- ◆回転角度規制調整方法 … P7
- ◆制振材施工方法 … P8



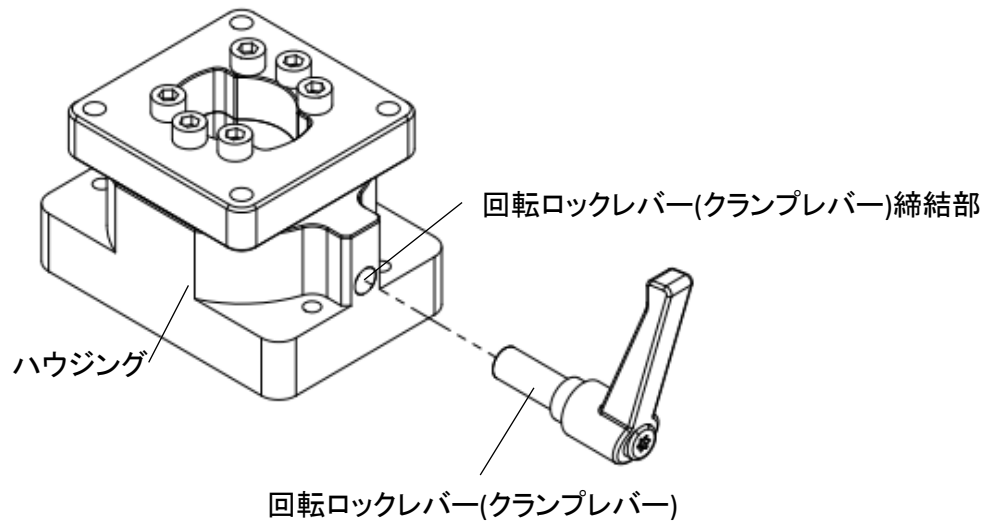
◆組立前準備

モニターアームを組み立てる前に以下部品の組立をしてください。

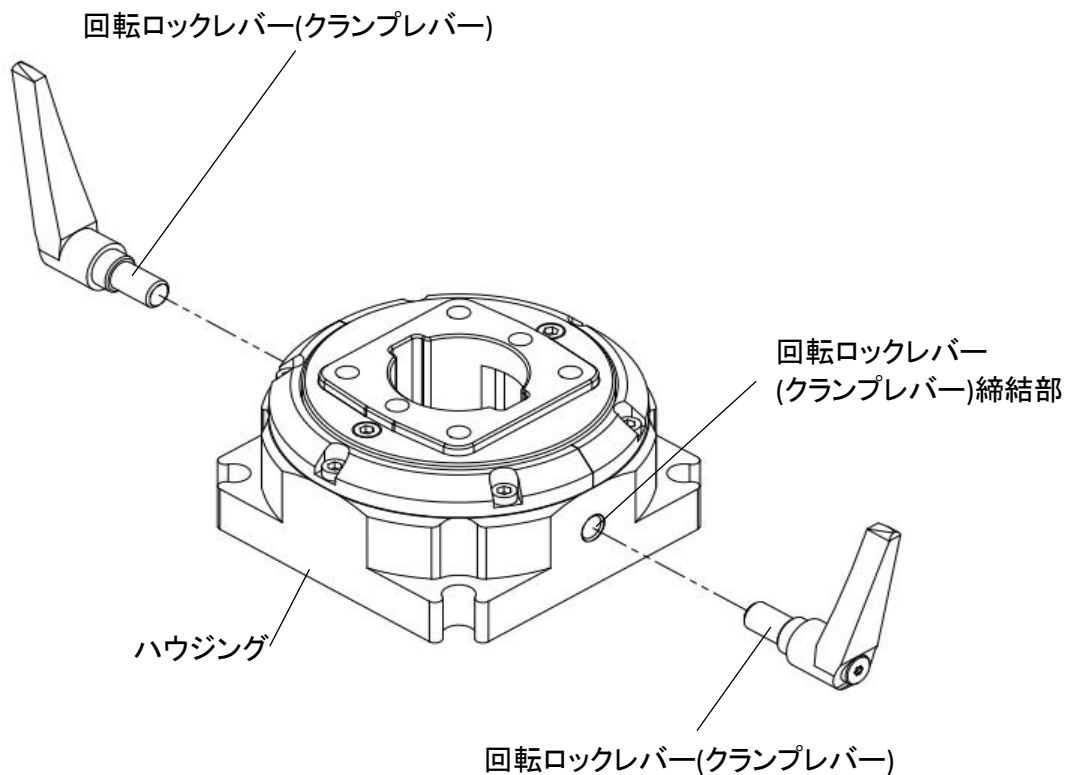
・ターンマウント回転ロックレバー(クランプレバー)の組付け

※回転ロックレバー(クランプレバー)の締め込みは軽く締めた後、半周程度戻してください。

・C1A-RC1(ボックス側)

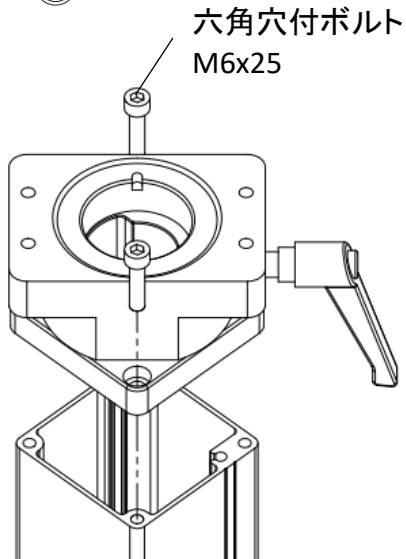
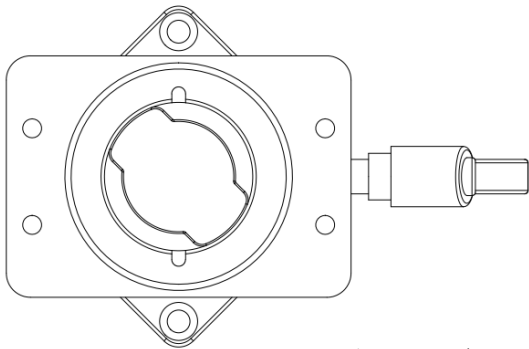


・C1A-XC0(固定側)



◆組立方法

- ・ターンマウントへのダクト取付方法
- ・ボックス側



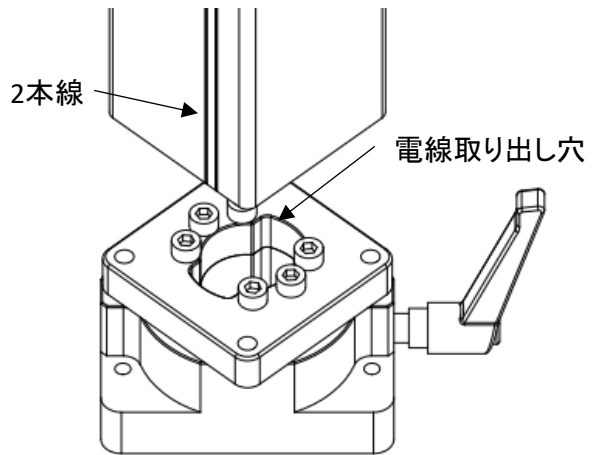
・固定側(設備側)

ターンマウントのダクトブラケットを45度回転させ、ダクト締結穴2カ所を露出させます。

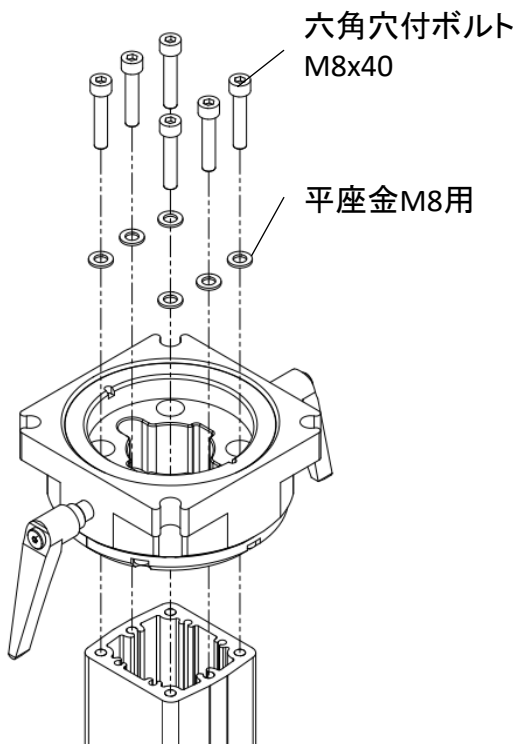
ダクト端面にターンマウントを乗せ、付属のボルトで締結します。4カ所締結する必要があり、2カ所ずつ締結できます。

推奨締結トルク: 15Nm

※ダクトの向きに注意してください。



ターンマウント中央の電線取り出し穴の長手側と、ダクト側面の2本線が水平になる位置でダクトを取付けてください。

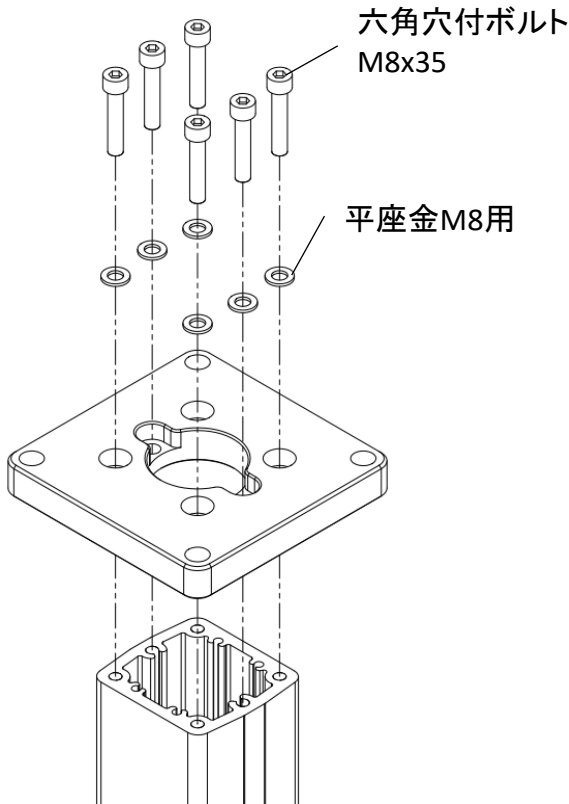


ダクト端面にターンマウントを乗せ、付属のボルトで締結します。6カ所同時に締め付け可能です。

推奨締結トルク: 24.9Nm

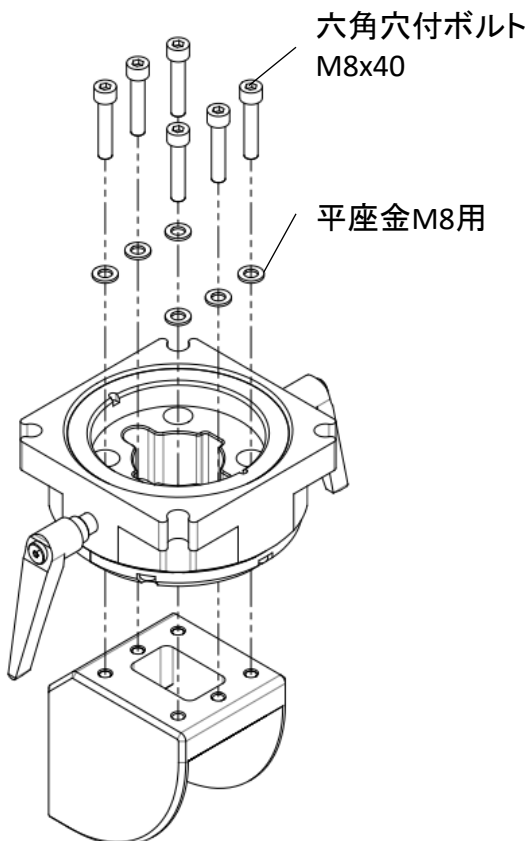
※平座金を必ず使用してください。

・フィックスマウントの取付方法



ダクト端面にフィックスマウントを
乗せて付属のボルトで締結します。
推奨締結トルク: 24.9Nm
※平座金を必ず使用してください。

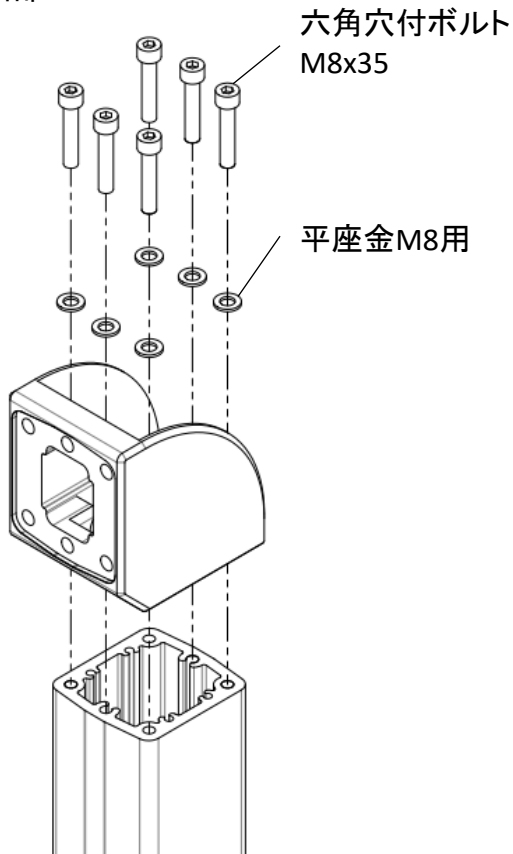
・エルボMAX(Vmin)の組立方法



エルボMAX(Vmin)端面にターンマウントを
乗せ、付属のボルトで締結します。
6カ所同時に締め付け可能です。
推奨締結トルク: 24.9Nm
※平座金を必ず使用してください。
※エルボMAX(Vmin)には向きがあります。
凹みが無い側にターンマウントを取付
てください。

・エルボMAX、レデューサーエルボMAXの組立方法

M8締結部



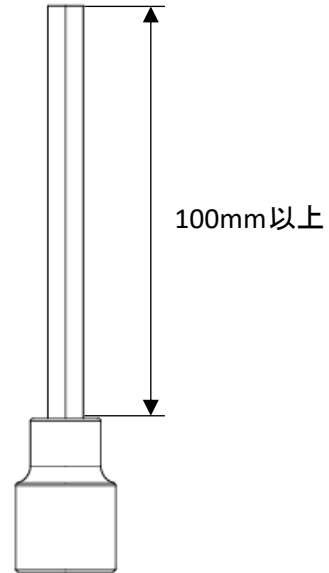
付属のボルトで締結します。

推奨締結トルク: 24.9Nm

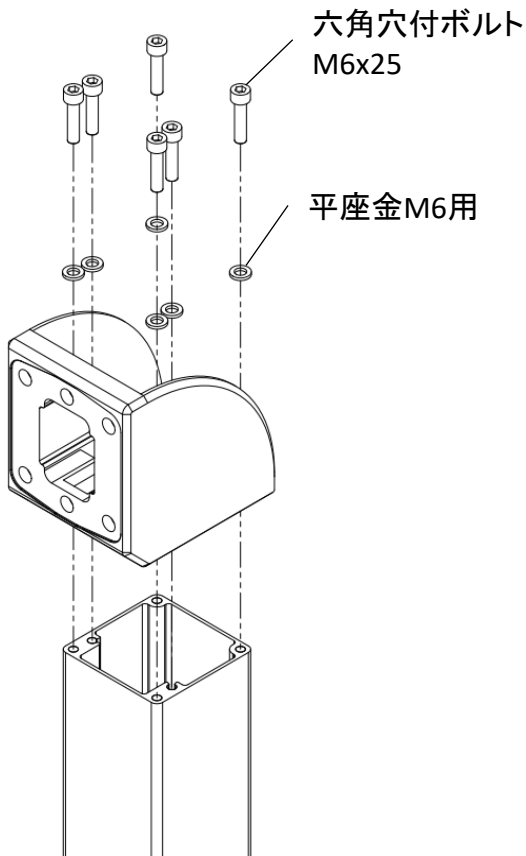
※平座金を必ず使用してください。

※適用工具: ヘキサゴンソケット(6)

最小有効長100mm



M6締結部



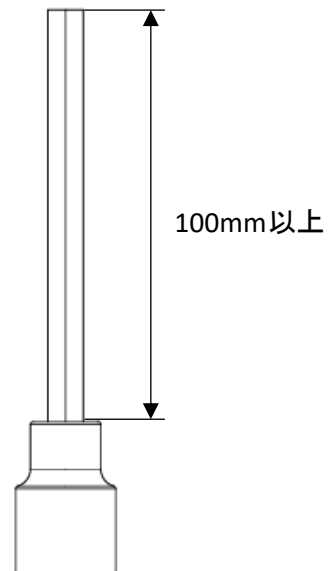
付属のボルトで締結します。

推奨締結トルク: 15Nm

※平座金を必ず使用してください。

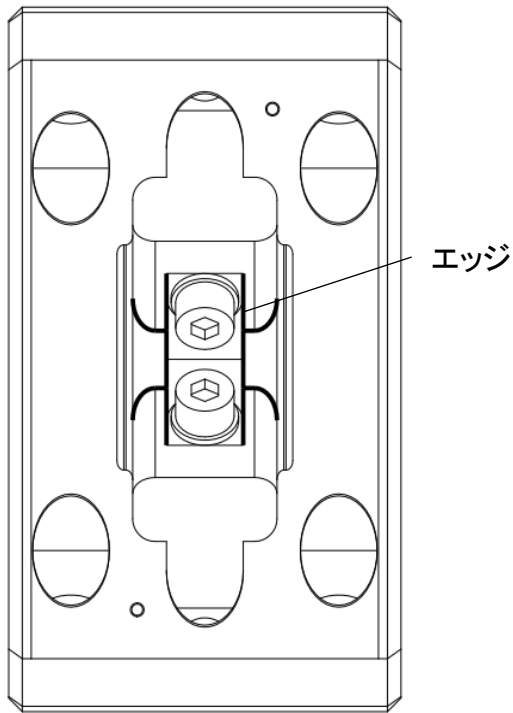
※適用工具: ヘキサゴンソケット(5)

最小有効長100mm

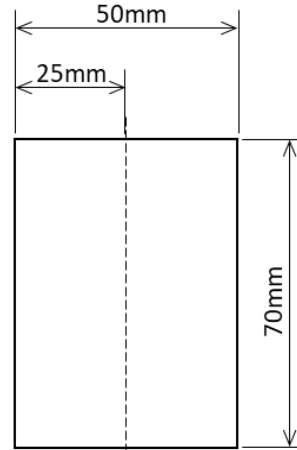


・エッジ保護

本製品には内設する電線をエッジから保護する為に保護テープを同梱しています。
 必要に応じてご使用ください。



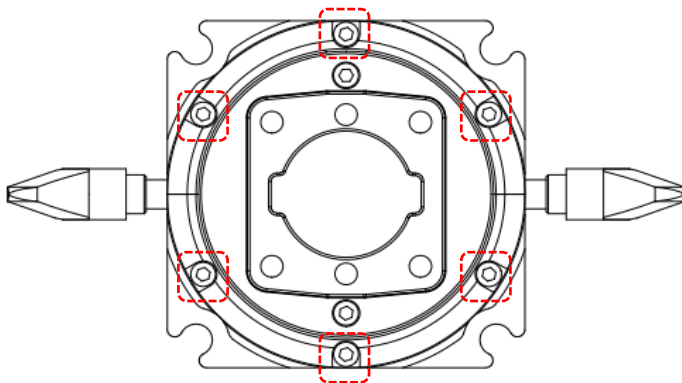
左図の太線部分のエッジから内設する電線を保護する為、必要に応じてエッジ保護テープを使用してください。
 保護テープは縦半分にカットしてご使用ください。
 (カッターナイフを使用すると綺麗に切れます)



エッジ保護テープ

◆回転角度規制調整方法

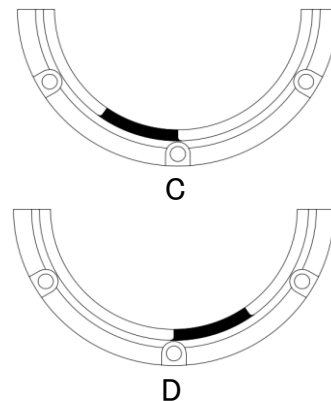
・ターンマウント回転角度規制調整機構



回転角度調整パーツの締結ボルト6本を緩め取り外します。
 取付けの際は緩みのない様締結してください。

回転角度調整パーツは30° 刻みでハウジングに取り付け可能です。

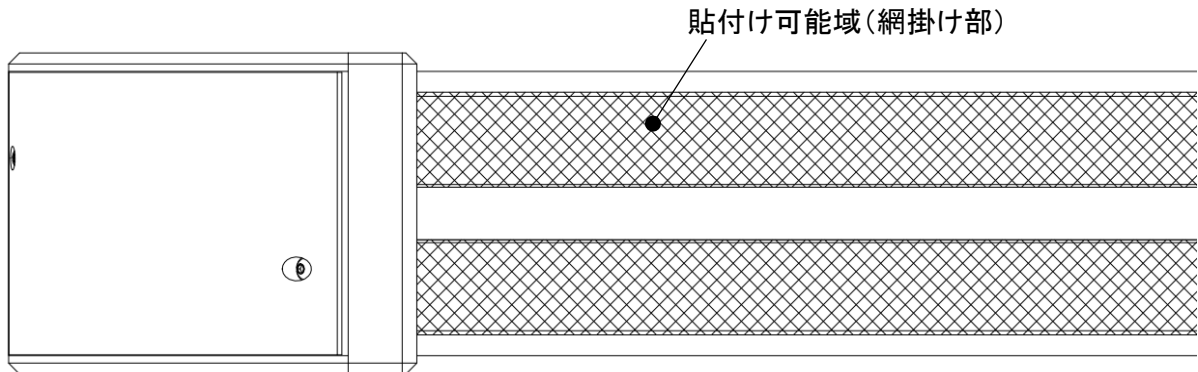
別売のC1A-XCA1をご購入いただくと90度、160度の角度規制を選択可能になります。



C1A-XCA1: TM MAX角度調整CD 90° /160°

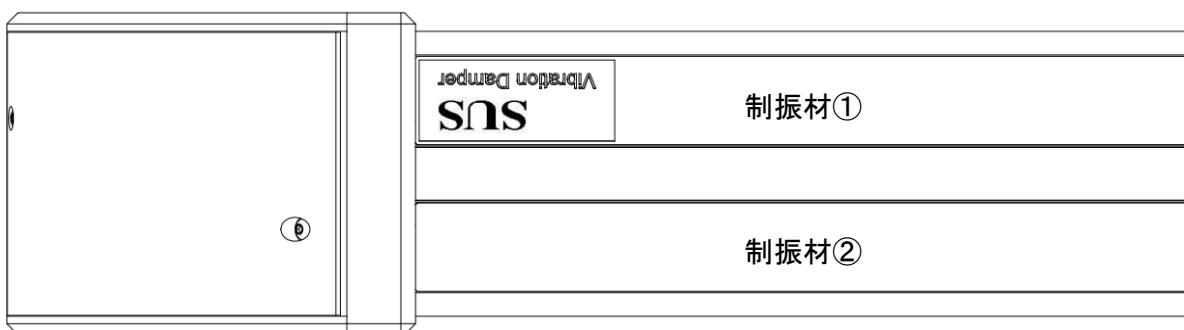
◆制振材施工方法

モニターアームMAXには水平ダクトに貼り付ける制振材を設定しています。
タッチパネル操作などにより発生する揺れを軽減したい場合にご使用ください。
※制振材は揺れを完全に無くすものではありません。



上図に示す貼付け可能域(網掛け部)に施工してください。
貼付け面を十分脱脂してから貼り付けてください。
空気が入らない様注意して貼り付けてください。
モニターアームを組み立てた状態で貼り付ける場合はエルボ端面に突き当てるか
1mm~2mm程度隙間を空けて貼り付けてください。
組み立て前に貼り付ける場合はダクト端面より5mm程度離して貼り付けてください。

貼り付け時圧着荷重: 2kg/cm²



制振材を貼り付ける際は制振材の向きに注意して貼り付けてください。
上図の様にロゴマークが互い違いになります。
積層する場合は下になる制振材のロゴシールを剥がしてください。